

ペンリレー

きんのペン、ぎんのペン、どうのペン

自己紹介

甲府21 戸田秀幸

私は、去年4月に甲府21ワイズメンズクラブに入会いたしました。

コロナ禍で、みなさま方とゆっくりお話しする機会がございませんでしたので私をご存じでない方が多いと思いますので、今回、こちらで自己紹介して、私を知っていただきたいと思っております。

私は、昭和42年に東京の三鷹で生まれました(1年しか住んでないので何も覚えていません)。

その後すぐに、千葉県松戸市に引っ越ししました。松戸の住んだ周りは、林、畑、田んぼで、兄2人とザリガニ、メダカ、トンボ、カブトムシとりができる自然豊かな環境で生活しました(幼稚園は1時間歩いて通園しました)。

小学生のころには、住んでいた丘の林が区画整理にあたり、そこは住宅街になり、畑、牧場はマンモス団地のなり、田舎から未来都市見たいにかわり高度経済成長期でした。

中学生になると人口増加の影響で1クラス45人、1学年12クラスで知らない人ばかりでした(ツッパリ時代でしたので、下校時、ゲーセンで高校生に囲まれカツアゲされたりして嫌な時代でしたね)。

高校では、東京の両国にある私立高校に通いました。満員電車で1時間以上かかり、この時の通勤ラッシュを見て将来東京都心で働くことはないと思心しましたね。

大学生の時に天文研究会に入っていたので、星空のキレイな山梨県の清里、河口湖、石和へ遊びに来ていました。その影響か、就職は山梨のコーヒー工場へ勤務で永く焙煎の仕事にたずさわりました(そのおかげで豆見れば産地わかります)。

その後、職場の環境が身体によくないので30才半ばで、今の保険代理店を始めました。

去年はコロナ禍の中、ステイホームで暇でしたので妻の実家の桃やぶどうのお手伝いをしながら生活しております。

早くコロナが収束して皆様方と気軽にお会いできる世の中になることを願っています。



YMCA便り

ワイズメンの皆様、長い間ありがとうございました。

山梨YMCA総主事 露木 淳司

私が総主事になったのは2010年の4月です。それから4年の任期を三期務めさせていただきました。一期目はまさに試練の4年でした。知識も経験も足りない未熟者でしたので、今以上に多くの人に迷惑のかけ通しでした。その2年目には東日本大震災が起こり、たった4人の職員にできることは限られていました。将来展望は全く開けない状態で、ただただ不安な日々を過ごしていました。

2014年に公益財団法人となり、学童保育が甲府市の委託を受けるようになりました。デイサービスぶどうの木が軌道に乗り、新会館建設の準備が始まりました。ようやく未来に希望が持てるようになった二期目でした。

そして、2018年からの三期目は児童発達支援事業が拠点を増やし、一気に基幹事業に成長しました。初めて年間収入が一億の太台に乗るようになりました。20年には新会館が竣工し、常勤職員も20名を超えるまでに成長しました。コロナ禍の中での退任になり、次期総主事への宿題はいっぱいあります。ただ、それは必ずしも負担ばかりでなく、未来への希望であり、夢という名の置き土産として受け止めていただければ幸いです。

この3月でYMCAに就職して40年になります。これは奇しくも旧約聖書の出エジプト記でイスラエルの民の旅をする年月と同じです。横浜YMCA時代にも節目節目にいろいろな事件が起こり、その度毎に、その後の人生を変えるような、人との出会いがありました。今こうしてまた、人生の大きな節目を迎えるにあたり、実に感慨深く過去を振り返るようになってきました。「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある」と聖書は言います。そして「神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる」と言われている通りで、何も思い煩うことなく、今後も神のみ旨に身を委ねて生きていきたいと願っております。

総主事としては、あとひと月のお付き合いとなりまして。皆様本当に長い間お世話になりました。改めましてここに心より感謝の意を表します。ありがとうございました。立場は変わりますが、いつまでもYMCAに連なる一人であり続けたいと思っています。自分にできる範囲で、できる務めを捧げてまいります所存であります。



山梨YMCA 露木総主事



KOFU21

Chartered 1990  
甲府21ワイズメンズクラブ  
プリテン委員長 水越正高

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.  
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

2022年2月1日(火) 発行

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7  
山梨YMCAグローバルコミュニティセンター  
☎055-235-8543 fax055-235-8553  
Mail kofu21@googlegroups.com

- 国際会長主題: "Y's Men with the world" (世界とともにワイズメン) キム・サンチェ (韓国) スローガン "Heal the World with Love & Dignity" 「愛と尊厳で世界を癒そう」
- アジア太平洋地域会長主題: "Make a difference beyond the 100th" 大野 勉 (神戸ポート) スローガン "Be healthy!" 「健康第一！」
- 東日本区理事主題: 「私たちは次の世代のために何ができるか?」 "Think for the next generation". 大久保知宏 (宇都宮) スローガン 「絆を深めるとき」 "We are stronger together than we are alone"
- あざさ部長主題: 「道を拓く〜愛と協力によって」 長谷川 あや子 (東京八王子)
- 甲府21クラブ主題: 「地域貢献を活力に!」 "Fundraising through Community Service!" 米長晴信

甲府21ワイズメンズクラブ  
2022年2月会報  
TOF/STEP  
YEOP

<今月の聖句>

「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい」

新約聖書・エフェソの信徒への手紙 第5章8節

選者 小澤 智之

2月号会長あいさつ

「またまたコロナの脅威」



甲府21ワイズメンズクラブ会長  
米長 晴信

12月のクリスマス例会、1月の甲府クラブとの新年合同例会が無事開催されましたが、「オミクロン株」のまん延でまた社会生活に影響が出てきています。

ワクチンの摂取率が増え、脅威がなくなりつつあるという矢先のこの変異ウィルス。症状は比較的軽いものの(執筆段階情報)、伝染の早さ、ワクチン接種者も感染するという点で、しばらくはマスクを常時着用する等「新しい日常」の生活は避けて通れなさそうです。

先月の例会時に名簿を配らせていただきました。プリテン委員会による力作です。私の希望で、五十音順でなく、入会順となっています。写真入りで、皆様の人となりがよくわかる秀逸の出来ですので、1月の例会に参加できなかった会員の皆様は是非入手してご覧いただきたいと思っております。それぞれの会員の皆様素晴らしいバックグラウンドで活躍されているのがよくわかります。

これからも力を合わせてコロナ禍の中での社会貢献活動を続けてまいりたいと思っております。

<2月合同例会プログラム 2月1日(火)>

【敬称略】

日時 2022年2月1日(火) 19:00  
形態 Zoomによる完全リモート

司会 小俣寛書記

1. 開会
2. 今月の聖句 小澤智之ワイズ
3. 会長あいさつ 米長晴信会長
4. 委員会報告 各委員長
5. ハッピーバースデー(発表のみ)
6. 諸報告・アピール
7. 閉会

TOF/Time of Fast  
タイム・オブ・ファスト(Time of Fast: 断食の時)の略称で、クラブ例会での食事を抜き、その金額相当分を国際協会に献金する。献金は、世界中のYMCA、ワイズメンズクラブから募集して国際協会が選定する、発展途上国を主たる対象とする地域支援プロジェクトに用いられる。

STEP/Short Term Youth Exchange Program  
ユース海外短期交流プログラム。3~11週間の短期海外訪問制度。18~25歳のワイズの子弟(または、3年以上ワイズメンズクラブ、ワイズユースクラブ、YMCAの何れかの会員経験を有する者)が応募対象者。海外のワイズ家庭に滞在し、現地のユースとの交流や異文化を体験する。

<2月の誕生者>

Happy Birthday!

<メン>  
山縣 譲治 (2/6)

<メネット>  
荻野 優子 (2/4)  
鎌田 千里 (2/9)  
饗場 雅子 (2/10)



(敬称略)

【例会報告】

2022年1月例会報告 新年合同例会(第一例会)  
 日時 2022年1月11日(日)  
 会場 岡島ローヤル会館



新たな年を迎えての1月第一例会は、甲府クラブと甲府21クラブとの恒例の新年合同例会として開催されました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

年頭に当たって、米長会長から「2022年は、あずさ部においても東日本区においても、山梨が中心になって担っていく年であり、みんなで力を合わせてワイズの活動を盛り上げていきましょう!」との力強い挨拶で合同例会がスタートしました。

ゲストとしてご参加いただいた日本YMCA 同盟: 田口 努総主事様には、「コロナ禍のYMCAの現況と未来 ~ワイズメンズクラブとの協働~」と題して貴重な卓話をいただきました。卓話の中では、日本YMCAの様々な事業についてご紹介いただくとともに、子どもや若者への支援インターネットを介した募金活動など、コロナ禍の中での新しいチャレンジの重要性や、YMCAとワイズメンズクラブとの協働の必要性についても問題提起していただきました。田口総主事のお話を通して、ワイズメンズクラブとしての今後の活動の方向性を示唆いただいたように思います。ありがとうございました!

会食後の余興では、夫婦太神楽の「かがみもち」様による、寄席太鼓・祭り囃子・武田節やヨゲンノトリ音頭などを披露いただき、会を盛り上げていただきました。コロナ禍の中での開催ということもあって、若干少なめの新年合同例会ではありましたが、甲府クラブの皆様と一緒に和やかにテーブルを囲み、交流を深めることができました。

結びに、2年ぶりとなる今般の新年合同例会の開催に当たっては、藤原琢也ワイズ実行委員長をはじめ、若手実行委員の皆様には準備の段階から当日の運営まで、陰の立て役者となって奔走していただきました。改めて感謝申し上げます。

★参加者数 50名  
 (甲府21クラブ参加メン: 31名、メネット: 1名、ゲスト1名 甲府クラブ17名)

※ 1月25日(火)開催予定であった第二例会については、新型コロナウイルス・オミクロン株の急激な感染拡大の状況や過密な日程の状況等を考慮し、やむなく中止となりました。

〈今月の聖句〉 選者より

イエスは、私達を照らし導く光としてこの世界においでになりました。イエスは光となり、温かく照らし、私達の行く道を守り導いてくださいます。私達はイエス様に招かれてこの場に集まりました。私達は神の光です。光に結ばれて、光になっています。暗闇を照らす存在になれるように道を歩んでいきたいと思ひます。 小澤 智之

会計報告 (2022年1月末)

項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション
目標値	250,000円	100,000円	50,000円
1月の合計	36,155円	0円	
1月末迄累計	142,743円	270,263円	92,000円
達成率	57.1%	270.2%	184.0%

《1月例会出席者》

会員数 51名  
 例会出席者数 32名(メネット1名)  
 出席率 63%



コロナ対策を施した会場風景



オープニングは米長甲府21会長



YMCAはどこに進むのか 田口総主事卓話



山梨YMCA 野々垣理事長

新年合同例会レポート

2022年1月11日 年明け早々の一大イベントが、甲府クラブ・甲府21クラブの合同企画として開催されました。第1部のメインイベントとして、今回ゲストにお招きした日本YMCA 同盟総主事 田口 努様にご講演いただきました。日本YMCAが推進する新ブランディングについてのご説明に始まり、現在コロナによって影響を受けているYMCA事業や、コロナの逆境を乗り越え、経済格差や孤立する人々のための支援の活動について詳しくお話をいただきました。

日本YMCAが掲げるウィズコロナ時代の、ビジョンやアクションをお聞きすることにより、ワイズメンズクラブに所属する一員として、支援の目的や意義を再確認することができる非常に有意義な時間となりました。会に参加して間もない会員もいる中で、このような時間と機会は非常に勉強になったのではないかと感じました。

集合写真の撮影後、佐藤重良次期東日本区理事の乾杯の挨拶にて懇親会が始まりました。その際には、両クラブの新規入会者の紹介の時間が設けられ、両クラブのワイズとの顔合わせの時間となりました。

2部のメインイベントである 太神楽では山梨を代表する演者「かがみもち」のお二人をお招きして太鼓や笛による演奏・ヨゲンノトリ音頭の踊りと歌をご披露いただきました。お正月にぴったりの縁起の良い芸を鑑賞させていただきました。

ご準備いただきました実行委員長の藤原ワイズ、役員の方々が大変ありがとうございました。

沢山の写真を撮影しましたので、そちらもどうぞお楽しみください。

ブリテン委員長 水越正高



2022年1月11日 新年合同例会集合写真

甲府クラブ 標 克明 様 どうも有り難うございました。



乾杯!! 佐藤次期東日本区理事



太神楽 かがみもちの皆さん